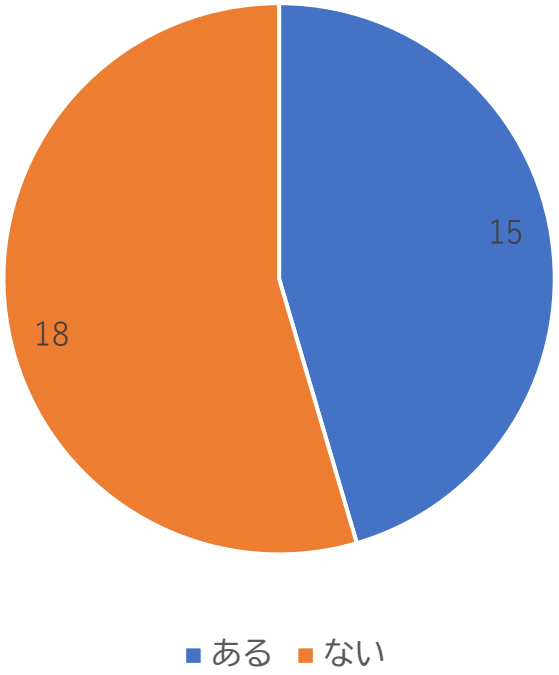
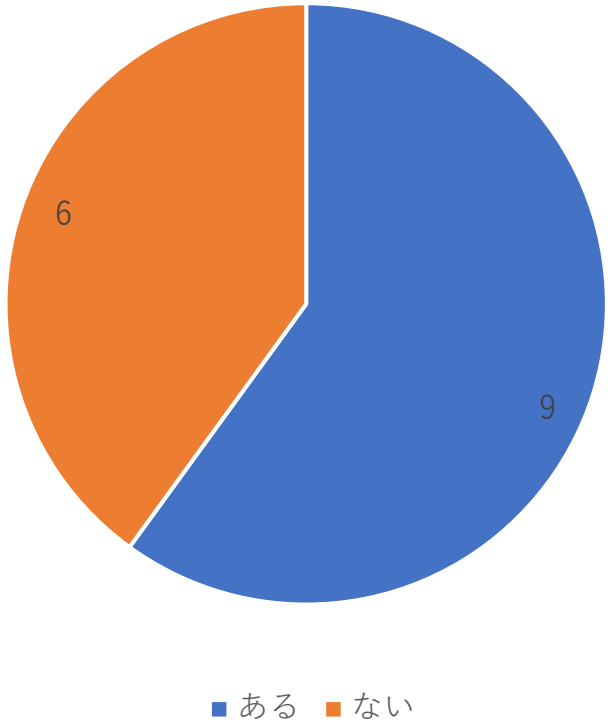
地域公共交通会議を活用した説明会等の開催についてアンケート結果

一般社団法人
全国ハイヤー・タクシー連合会
8月5日は「タクシーの日」

タクシー業の人手不足解消に関する議題の有無



議題とされた場合の具体的提案の有無



〇地域公共交通会議において、人手不足解消に関する議題とされているのは、45%となっているものの、具体的な提案がなされているのは少数に限定されている。

具体的提案の内容

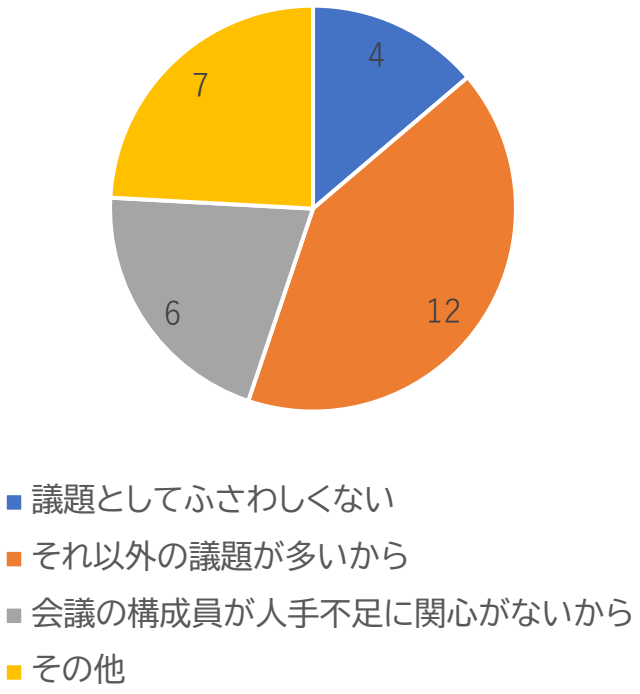
〇交通計画において、担い手確保の取組を施策の一つに掲げており、就職フェアの開催、運転免許取得への助成、業界のイメージアップのPRなどに取り組むとしている。
〇退職消防署員へのアプローチを行政と連携して行う。広域自治体での乗務員募集。地方新聞での乗務員募集チラシの配布。
〇自治体による二種免許の取得の助成やタクシー運転者になる人への就職祝い金の助成など。
〇自治体が二種免許取得補助事業を説明。
〇バスとの合同就職説明会
〇交通計画に運転者確保方策（例えば、今後の就職説明会の開催等の取組など）について明記いただいた事例あり。
〇自治体の広報誌に乗務員募集の記事を掲載してもらう。
〇二種免許取得費用の助成などを要望。
〇自治体の人材バンクを活用することが提案された。
〇乗合タクシーを1社で請け負うと負担が大きので、支部受けにして、輪番制で対応することをタクシー協会が提案した。

実施された施策の概要

○直接の公共交通会議案件ではないが、佐賀県武雄市では、タクシー事業に特化した「自動車運送事業における人材確保・働きやすい職場づくり伴走支援」の取り組みとして、武雄市、佐賀運輸支局、ハローワーク武雄、佐賀働き方改革推進センター、バス・タクシー協会、地元タクシー事業者による勉強会を開催した。
○二種免許補助、チラシの作成等
○広報誌への求人掲載。二種免許取得費用の助成。
○島根県交通対策課においては、二種免許取得、採用活動、職場環境整備など人材確保につながる乗合タクシーや自家用有償旅客運送を受託しているバス・タクシー事業者への助成を令和7年度から実施している。また、協会が行う業界をPRする広報活動に対して、令和5年度から経費の一部（2/3、上限200万円）を助成している。
○年末に2年にわたり、バス・タクシー乗務員募集チラシを県内最大新聞に折り込みチラシを入れていただいた。

地域公共交通会議を活用した説明会等の開催についてアンケート結果

議題とならない事情



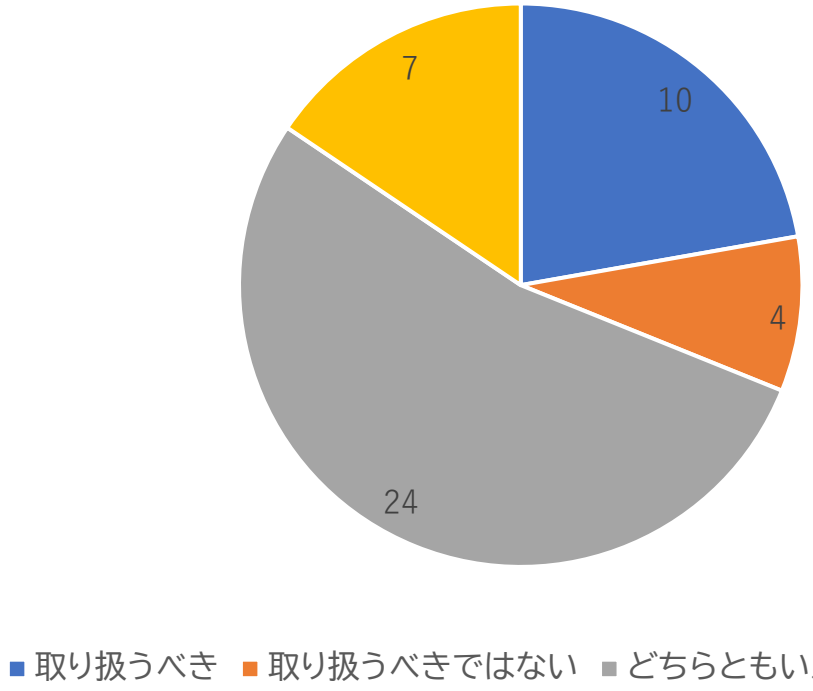
議題とならない事情として、それ以外の議題が多いことが挙げられている。個別の意見をみると、バス路線の廃止や乗合タクシーに関する議題が優先されている。

〇その他として、

・人手不足は共通の認識ではあるが、議題としてまでは取り上げられない。
・人手不足よりも路線存続が議題として取り上げられている。
・バスと乗合タクシーの利用促進がメインの議題で人手不足は取り上げられにくい。
・多数の協議会があり、把握しきれていない。

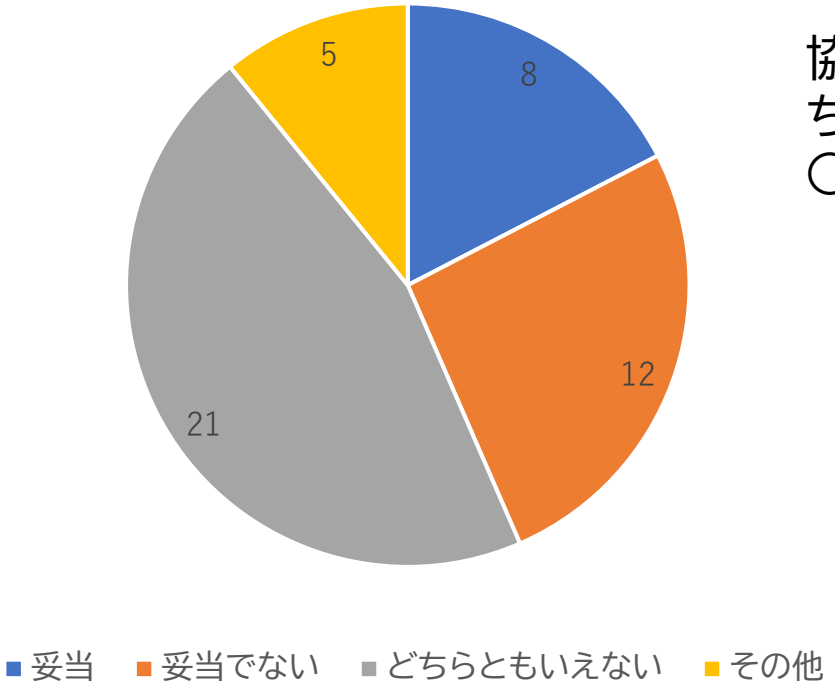
などがあった。

会議の議題として取り扱うべきか



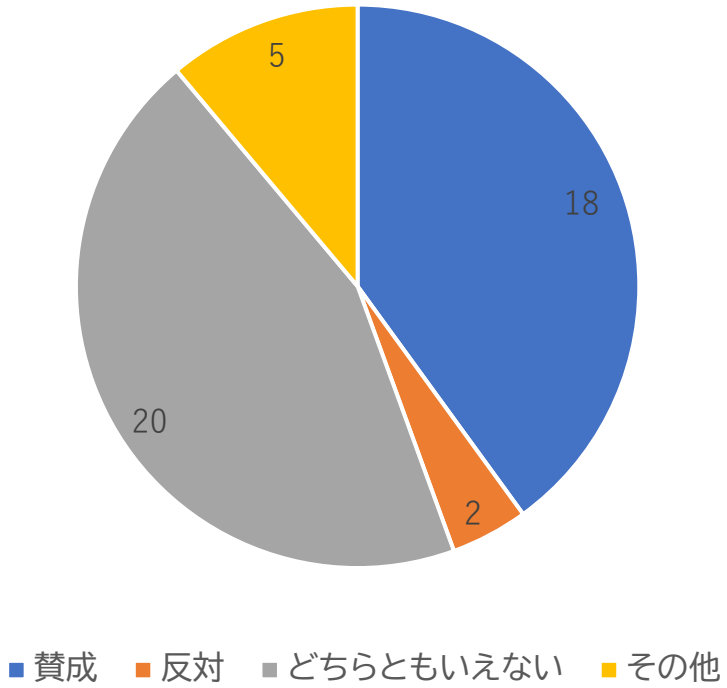
会議の議題として取り扱うべきかについては、半数以上がどちらともいえないとしている。
〇その他として、
・交通空白解消等の論点のうちの一つであり、特記して議論するものでではない
・自治体から議題として出されれば出されれば議論することは差し支えない
・そもそも自治体の担当者が人手不足に関する認識がない
などがあった。

協会から人手不足について提案することは妥当か



協会から人手不足を議題として提案することについては、半数近くがどちらともいえないとし、次いで妥当でないとするものが多い。
〇その他として、
・自治体が賛同した上でなら提案することはあり得る
・自治体から議題として出されれば出されれば議論することは差し支えない
・個々の会議の状況に応じて判断すべき
・現状では路線バスに関する議題が優先されている
などがあった。

人手不足解消の議題について、労働局・ハローワークからオブザーバーを受け入れることはどうか



人手不足解消の議題について、労働局・ハローワークからオブザーバーを受け入れることについては、半数近くがどちらともいえないとし、次いで、賛成とするものも多い。
〇その他として、労組等から労働局の対策を求められることに懸念があるとの意見があった。